



ゆきおんな
「雪女」



どんなおはなし？



“人間に恋をした雪女の悲しい運命”

「雪女」

作：小泉 八雲



ある大雪の日、山で吹雪(ふぶき)にあった、りょうしの茂作(もさく)とみの吉(きち)は、山小屋で、おそろしい目をした白しようそくの美しい女に出会いました。

女が白い息をふきかけると、茂作はこおって死んでしまいます。女は、みの吉はころさず、ささやきました。「おまえのことは気に行ったから助けてやる。だが、今夜のことを誰かに言ったら命はないと思え…」

それから一年、みの吉はお雪という美しいむすめと出会います。ほどなく二人は、こいに落ちてけっこんし、子どもをもうけ幸せな生活がつづいていましたが、そんなある夜…。



出演者



あだち ゆ み
安達 祐実 さん

大ヒットドラマ「家なき子」で、小学生の時に主演をえんじ、有名になった、女ゆうの安達祐実(あだちゆみ)さんが、『雪女』を語り聞かせてくれます。

雪女の悲しい運命のお話に耳をかたむけてみてください。安達さんがふんする、雪女はとってもきれいで、ちょっぴりこわいですよ～！



番組イラスト／「読んでみよう！」イラスト制作



イラストレーター
加藤 オズワルド

